文星芸大附 now!

文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話(028)
636-8000(中学直通)
636-8585(高校直通)
http://www.bunsei-art.ac.jp
発行　教務部・学報編集係

坂本龍馬と三敬精神

進学統括部長　牧島勝利

坂本龍馬は、生まれながらにして勇敢で、行動力の豊かな人間ではありませんでした。NHK大河ドラマ「龍馬伝」でも、岩崎弥太郎の回顧シーンのなかで、臆病で弱虫な幼い龍馬が描かれています。

そんな龍馬が、どうしてあんなに力強く成長できたのでしょうか。

それは、私の龍馬研究のテーマの一つです。

百瀬昭次著『坂本龍馬・感動の人生哲学』に、次のような興味深い記事が載っていますので紹介します。

『幼少の頃の龍馬は、後の龍馬とは似ても似つかぬ、いわば、ひ弱のうすのろの子という印象が強い。近くの塾に通わせ、四書五経や習字を習わせましたが、意欲が乏しく、やる気がない。みんなにもついて行けず「落ちこぼれ」の汚名を着せられ、「いじめ」の標的にされ、よく泣かされてばかりいました。まさに「自己否定型人間」の典型でした。

それが大きく変身するきっかけとなったのは、三歳年上の姉乙女(とめ)の薫陶です。彼女は龍馬に剣術、馬術、水練などの手ほどきをしました。

龍馬は少しずつ腕を上げ自信がついてきました。体も丈夫になりました。

龍馬が立ち直ったのは、体を鍛えたことにより「自尊心」を習得したことです。それは、十四歳になって通い始めた日野根道場で修業を積むことにより、いっそうゆるぎないものとなりました。こうして「自己肯定型人間」坂本龍馬が誕生したのです。

人間は自分が尊敬に値する価値ある人間であることを自覚したときに、人間らしい生き方を始めます。そして「自尊心」の持ち主は「他尊心」の持ち主でもあります。自分の値打ちを認めると同様に、他人の値打ちを認めることができてこそ、初めて本物の「自尊心」の持ち主といえます。龍馬がその典型です。』

この一文を読んで、皆さんは何を感じますか。

龍馬の生き方は、まさに三敬精神の体得・実践そのものではないでしょうか。

自分を大切に思えるからこそ、他人も大切に思えるのです。他人を大切に思うことで人間関係が良くなり、仕事に打ち込めることができるのです。

「何をやってもダメだ」という言葉(思い)はタブーです。どこかに必ず良いところはあります。かりに「自分にはどこにも良いところがない」と感じていても、決して自分を否んではなりません。「自己を敬え」(自分を大切に考えよう)と言い続ける(思い続ける)ことが、自己変革を生むのです。「自信がある」とは、「できる力がある」ことではなく、「自分はできると信じる」こと、つまり「自己を敬う」ことです。

三敬精神はすばらしい人生指標です。

毎朝、大きな声で心から校訓を唱和しましょう！

文星芸大附now!は、平成17年4月に「文星芸術大学附属中学校」の開校に合わせて発刊されました。

中学校行事予定

▽十月
- 22日(金) 雄飛祭準備
- 23日(土) 雄飛祭(オープニング式典)
- 24日(日) 雄飛祭(一般公開日)
- 25日(月) 代休

▽十一月
- 5日(金) 前理事長先生御命日
- 秀文杯校内体育大会
- 漢字能力検定
- 6日(土) ベネッセ学力推移調査
- 8日(月) 体育大会予備日
- 10日(水)～11日(木) PTA学校開放日
- 13日(土) 第一回入学試験
- 18日(木) 芸術体験(文星芸大)

▽十二月
- 1日(水)～2日(木) 期末考査
- 11日(土) 第二回入学試験
- 24日(金) 第二学期終業式

高校行事予定

▽十月
- 22日(金) 雄飛祭準備
- 23日(土) 雄飛祭(オープニング式典)
- 24日(日) 雄飛祭(一般公開日)
- 25日(月) 代休
- 28日(木) 総合学力テスト(普二年)
- 29日(金) 総合学力テスト(普一・二年・英二年)
- 30日(土) 総合学力テスト(英一・二年)

▽十一月
- 2日(火)～3日(水) 第三回共催マーク模試(英二年)
- 5日(金) 前校長先生御命日
- 秀文杯校内体育大会
- 6日(土) 保護者懇談会(一年)
- 8日(月) 体育大会予備日
- 27日(土)～28日(日) 全統センタープレテスト(英二年)

▽十二月
- 1日(水)～6日(月) 期末考査
- 9日(木)～10日(金) 前期入試願書受付
- 24日(金) 第二学期終業式

1p ＜進学統括部長より＞
2p ＜雄飛祭・就職試験出陣式＞
3p ＜修学旅行・総合学習＞
4p ＜輝け！文星健児(部活動)＞
5p ＜雄飛祭に来てください＞
6p ＜夏の学校行事から＞
7P ＜修学旅行・福祉体験＞
8P ＜第8回雄飛祭案内＞

高等学校 雄飛祭

生徒会からこんにちは！

生徒会長
横山昴司
（英進科三年）

皆さん、こんにちは。最近寒い日が多いですが、体調に気を付けてくださいね。

本題に入りますが、もうすぐ年間行事の中で最もビッグなイベントである雄飛祭があります。毎年、生徒や保護者だけでなく一般のお客様にも好評をいただいております。しかし、昨年はインフルエンザのために雄飛祭が実施できませんでした。その分今年は思いっきり、みなさんには雄飛祭を楽しんでもらいたいと思っています。そして、自分達だけでなく、来ていただいたお客様を含めた全員を笑顔にできるようなものをつくっていきましょう。

さて今回のテーマ「熾盛」ですが、意味は火が燃えるように勢いが盛んなことです。みなさんは炎のような熱い魂を持ちながら準備しているので、きっと本番はいつも以上に熱く魂のこもった素晴らしいものになるでしょう。

雄飛祭の主体は何と言っても私たち生徒です。ですから、生徒全員が全力で頑張らなくてはなりません。自分たちが楽しむためにも、雄飛祭に足を運んでくださるお客様に楽しんでいただくためにも、全力で頑張っていきましょう。熱い心と皆さんの文星魂で雄飛祭を今までにないくらい素晴らしく、楽しく、そして熱いものにしていきましょう。みんなで力を合わせ、雄飛祭を成功させましょう！

雄飛祭開催日時
10月24日（日）
9時～14時30分
（最終入場は14時まで）

◇ゴミ箱係より

今年度から、宇都宮市のゴミ分別のルールが変わりました。雄飛祭各会場でも容器を紙製にする等、工夫をしていただいております。係では現在、ゴミ箱の準備とゴミの分別を呼びかけるオブジェを鋭意制作中です。

当日は、ゴミの分別にご協力いただけますよう、是非ともよろしくお願いします。

◇パンフ・ポスター係より

パンフレット・ポスター係です。今年度のポスターのデザインは、美術デザインコース二年生の辻正朗君が、今年のテーマ「熾盛」からイメージして描いたものです。

今年はコラージュの技法を使った作品です。一昨年のCGとは違ったポスターに仕上がりました。パンフレットも、コラージュのポスターに合わせて仕上げました。作品を写真で撮ったので立体感がでていると思いますので、じっくり見てください。

先日、実行委員の生徒たちで手分けをしてポスター掲示を学校外の各施設へ依頼に行き、学校周辺にもポスターを掲示しました。

雄飛祭になるべく多くの人に来ていただけるよう、宣伝活動をしています。

◇ゲート係より

ゲート係では、今年の雄飛祭のテーマ「熾盛」にちなんで、燃え上がる炎をモチーフにしたゲートを制作しています。ゲートは正門付近に置かれ、来場者以外にも多くの人たちの目に触れるものですので、より多くの人に雄飛祭への興味を持っていただけるような、豪華で存在感のあるものに仕上げたいと考えています。

勉学やスポーツに情熱を燃やし取り組む本校の生徒の姿を、燃え盛る炎で表現しようと、実行委員の生徒たちは連日のように放課後に集まり、どうすれば炎の力強さや躍動感を出せるかを話し合いながら、ゲート完成を目指して奮闘しています。

◇食催係より

毎年行われる食催ですが、今年も「かかわるのが初めて、大量に提供するのも初めて」という生徒が多い中スタートしています。学校祭をより楽しいものにするためにも、内容の検討と試作を各クラスで積極的に進めています。しかし、インフルエンザやノロウィルスなど、心配は尽きません。そのため、美味しく、安心して食べることができるものを提供できるように、気を引き締めて進めています。

衛生面の指導では細かいことを数多くお願いしますが、ご理解の上ご協力よろしくお願いします。

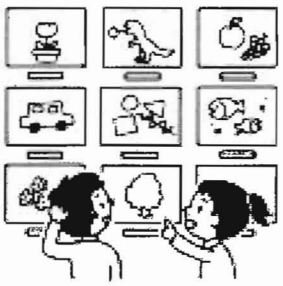
◇ステージ係より

野外ステージでは、例年以上の盛り上がりとなるように、和太鼓部、生徒バンド、教員バンドが、当日のライブに向けて日々練習を重ねています。

一般公開日の時間いっぱい、大空の下で若き獅子たちの雄叫びを是非お楽しみください。

場所・特設野外ステージ
（体育館前　入場無料）

※野外のため、悪天候の際は係の判断で中止とさせていただきます。



就職試験出陣式

今年も九月十六日（木）より就職試験が始まった。それに先立ち、本校の恒例行事である就職試験出陣式が、十三日（月）、第六校時に本校研修センター大会議室にて行われた。

長引く不況の影響で多くの企業が、採用を減らす傾向にあり、昨年と比べても急激に就職が厳しくなったと言われている。今年は、四月当初より就職希望者が少なく、過去最低水準であった。式に参加した生徒は一〇三名であるが、全員の頭に必勝ハチマキが巻かれるとまさに臨戦態勢という様相であった。その中、理事長先生をはじめとして、教頭、学年主任、就職指導部長から激励の言葉が贈られた。生徒の表情は真剣そのものであり、これから厳しい就職戦線に立ち向かっていくという決意がうかがえた。

最後に就職指導部長の掛け声と共に高々と拳を突き上げ一致団結し、式は終了した。生徒諸君には全員が内定を勝ち取ることができるように頑張ってほしい。

2010修学旅行 in 沖縄（3泊4日）

守礼門を抜けて首里城へ

二学年の二五二名は、九月十四日(火)から十七日(金)の三泊四日で、沖縄に修学旅行に行ってきました。生徒たちは、沖縄の地を訪れて、さまざまなことを感じ、たくさんの思い出もできたようです。紀行文から一部を抜粋して紹介します。

二年一組　齊藤　良宗

海はとてもきれいだった。一組は皆バナナボートを選択した。このボートがとても速いのだ。もう皆興奮状態だった時に、急にボートが横転して、乗っている皆もそのまま海に投げ出された。鼻に海水が入って大変だった。

二年一組　佐藤　楓

美ら海水族館に行った。ジンベイザメは、本当にすごかった。何十分かジンベイザメを見続けた。

二年二組　鈴木　亮平

私がこの修学旅行で知った「沖縄の戦争」は、紛れもない「事実」であり、私が今まで知識として持っていたものとは、全く異なるものだった。

二年二組　川喜田竜平

第三日目はダイビングと海洋博公園を通して、海というものを感じることができた。

栃木県には海がなく、海に接する機会が少なかったので、今回の経験を通して海の美しさを知り、後世のためにも守り、残して伝えていかなくてはならないと感じた。

二年三組　飯田健太郎

この修学旅行のテーマでもある「平和」というものがどれだけ大切であるかということに気づかされました。戦争を過去のものとしてとらえていた自分が、後世に伝えなければならないという考えを持てたことが今回の修学旅行のいちばんの収穫です。

今回学べたことを無駄にしないように活かしていきたいです。

二年三組　今井　巧

資料館での展示やガイドさんの話を聞いた後に眼下にある海を見ると、こんなに美しい海なのに戦争があったのかといたたまれない気持ちになった。

自分たちが生きる世界で、あんな事を二度と起こしてはいけないと実感した。

【平和祈念資料館にて】

二年三組　鈴木　康平

今回の修学旅行では平和の大切さや海の寛大さなどたくさんの事を学びましたが、友達との友情が大きく深まったのがとても良かったです。

普段あまり話をしていない人とも飛行機で話をしたり、たくさんの人とコミュニケーションをとったりすることが出来ました。

二年四組　石嶋遼太郎

手記に書いてあったことは、私の心にぐいぐいとせまってきて、私はその手記を読んでいるうちに、自然に目から涙があふれでてきました。

それを読み終わった後も、自分と同じような年齢で死んだ女の子たちのことを思い出すと涙が出てきそうでした。

【ひめゆり資料館にて】

二年四組　大貫　智史

館内に入ると、多くの写真が展示されていた。その写真には、戦争の悲惨な現実が映し出されていた。

それは、思わず目をそむけてしまうようなものばかりであったが、この事実としっかり向きあっていかなければいけないのだと強く思った。

【平和祈念資料館にて】

二年四組　坂本　慎弥

二日目は、首里城と琉球村を見ました。首里城と琉球村では、沖縄の伝統や文化について触れることができました。以前から見てみたかった沖縄のイメージ通りの家や、屋根についているシーサーなども見ることができました。とても感激でした。

沖縄は日本ではあるけれども、独自の文化や伝統があるのだなと思いました。

沖縄といえばやはり海

総合学習 ツインリンクもてぎ

九月十六日(金)、総合ビジネス科一年生七十六名はツインリンクもてぎへ施設見学に行きました。翌日からインディジャパンが開催されることもあり、会場からの熱気をすでに感じたようでした。

この体験では、世界で活躍するトップドライバーへの質問を英語で行ったり、実際のレースで使われるマシンに触れたりと貴重な経験ができました。中には、広大なコースを歩く生徒もいましたが、あまりの長距離に途中でリタイアする生徒もいました。

また、ツインリンクで働く方々からの職業講話もあり、働くことの意義や仕事の厳しさ、自己の将来のあり方などを学ぶ貴重な体験ができました。今後の進路選択に活かしてほしいと思います。

検定試験取得状況（九月末現在）

第42回全商ワープロ検定

【一級】
根津　邦彰
齋藤　和鷹
神山　嘉崇
瀧　雅行

【三級】
阿久津　圭汰
小川　智也
鈴木　啓之
高屋敷　雄太
橋本　貴史
三沼　孝佳
高林　将太
大越　一樹
高橋　寛樹
前嶋　亮
鈴木　義也
翔友汰
翔真
洋力
涼光典
涼介

第188回実用数学技能検定

【二級】
佐藤　祐己
藤橋　勇斗
鈴木　剛
横山　吾
郷間　裕介

【準二級】
大芦　悠
小林　勇樹
根本　良平
齋藤　栽
飯藤　馬
増田　仁
一楓　貴
樋口　大平
港道　清水
小山　晃
亮　司
武志　直也
康平　涼
涼典　
幕林　久
大山　津
田中　翔
齋藤　真
鈴木　力

日本漢字能力検定

【二級】
本田　卓也
鈴木　浩晃
平清水　希
小川野　史
前嶋　直
益子　翼
金子　瞭
若齋　祐輔
松藤　人
磯　正人
瓦井　恵太
伴　誠也
川田　竜督
稲生　翔斗
岩渕　竜
酒井　解
高橋　涼馬

【準二級】
康平
仲山　雅俊
浦田　智宇
溝口　陽裕
田　隼人

【三級】
陽平
圭太
康介
将大
夏丘
元
浦田
溝口
田
智宇
陽裕
隼人
優作
昂樹
彰

実用英語技能検定

【二級】
小野　栗山
石川　松崎
松木　伏
乾
坂本　阿部
松本

【三級】
孔　星
惇史
匠
小室　谷
長谷　鈴
木

輝け!!文星健児
～部活動報告～

県内各地で行われた大会やコンクール、国体の主な結果および、八月に宮崎県で行われた全国高等学校文化祭に参加した様子などを紹介します。
※(英)＝英進科(普)＝普通科

硬式野球部
秋季県大会準優勝
3年連続関東大会へ

十月十日(日)、清原球場において秋季県高校野球選手権大会決勝戦が行われ、本校硬式野球部と佐野日大が雌雄を決した。

準決勝戦で作新学院を退け、見事3年連続となる関東大会出場を決めた文星ナインは6回に一挙5点を奪い、逆転に成功。さらに8回にも1点を追加したが、9回佐日打線に捕まり、惜しくも秋季県大会3連覇は逃した。

十月三十日(土)から埼玉県で開催される第63回秋季関東地区高校野球選手権大会でも今回の経験を活かし、選抜甲子園大会出場を目指して一戦一戦を全力で戦い抜いて欲しい。

《準決勝戦》

作新	1	1	1	0	0	0	0	0	3
本校	0	1	2	0	0	3	1	0	7

《決勝戦》

佐日	0	0	0	0	1	4	1	0	6
本校	1	1	0	0	1	5	0	1	0

軟式野球部
秋季県大会を制覇!!
関東大会へ

十月七日(木)、県宮球場にて県高校新人大会決勝戦が行われ、本校軟式野球部と作新学院が対戦した。

準決勝戦で白鴎足利を完勝で下し、関東大会出場を決めた文星ナイン。強豪作新との両者譲らぬ激戦は延長13回に及んだが、1点をもぎ取って試合を制し、第51回秋季関東高等学校軟式野球大会に向けて大きな勝ち星を増やし、弾みをつけた。

十月二十八日(木)から地元栃木県で開催される関東大会でも、健闘を祈りたい。

《決勝戦》

作新	0対0			0	0	0			0
本校	九回まで	0	0	0			1x		1

卓球部
県ジュニア選手権制覇
澤畠選手全国へ

九月二十三日(火)、鹿沼フォレストアリーナで行われた県ジュニア選手権大会に、本校卓球部が出場した。

全日本卓球選手権大会出場を懸けた今大会。決勝戦で本校の澤畠雅孝選手(普二年)が鶴田選手(青藍泰斗)を破り、県大会を制して本選出場を決めた。

来年一月に開催される全国大会でも澤畠選手の活躍を期待したい。

将棋同好会
小倉君県大会優勝!!
関東大会へ

九月十九日(日)に行われた第21回関東地区高文連将棋選手権大会県予選決勝戦、本校の小倉一宮史君(英二年)は車田君(真岡高)との激戦を制し、全勝で十二月に山梨県で開催される関東大会への出場を決めた。関東の舞台でも己を信じて戦い抜いて欲しい。

《新人戦などの主な結果》

陸上競技部
県高校新人陸上競技大会
《砲丸投げ》優勝　田代美砂希(普一年)　12m30
《円盤投げ》優勝　石川　稜(普二年)　32m66
《ハンマー投げ》3位　43m02

バスケットボール部
県バスケットボール協会長杯争奪高校一年生大会　準優勝
《決勝戦》
本校　97―109　宇工

テニス部
県高校新人テニス大会
《ダブルス》ベスト8
竹村健太・阿久津泰史(ともに英一年)組
長谷昂樹(英一年)・阿久津亮汰(普一年)組

音楽部
第52回吹奏楽コンクール
《高校D部門》銀賞
『眩い星座になるために』

千葉国体

九月二十五日(土)から千葉県で開催された第65回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」。本校からバスケットボール部の高瀬達也選手、高瀬智大選手(ともに普三年)が、代表選手に選ばれた。バスケットボール栃木県選抜チームは二回戦で宮崎県と対戦し、惜しくも敗退したが、野州健児の意地を見せつけた。

バスケットボール　二回戦

栃木選抜 95
25―25　24―27　27―28　19―28
108 宮崎選抜

全国高文祭 参加報告

美術部の辻正朗君(普二年)は交流会で、他県代表と作品を共同制作した。「作品を披露した瞬間、会場が沸いた」そうだ。また、全国の代表作品を鑑賞し、「作品に地域性が反映されていると感じた」とのこと。

和太鼓部は演目『雷響』『男体おろし』を演奏。部長の金澤祐樹君(普三年)は「緊張して倒れそうだった」そうだが、皆は「いつも通りの演奏ができた」とのこと。和太鼓に提灯や踊りを合わせた演技もあり、大いに刺激を受けたそうだ。

一日体験

八月二十一日(土)、二十二日(日)の二日間、中学生と保護者対象の一日体験学習が行われた。

中学生は、模擬授業では高校や大学の入試問題を取り入れた国数英の授業を、体験学習ではCG、スポーツ、調理、自動車整備、ゲームプログラム作成などを体験した。参加した中学生の生き生きとした姿がとても印象的で、今回の経験が進路決定に役立つことを願いたい。

また、当日は在校生が体験授業のサポートや案内などを行い、未来の先輩としての役割を果たした。

文星散歩道 ⑪
自分史
(題字　大木教頭)

地歴科　南木　和喜

私は歴史を教える人間としてではなく、私個人として歴史が好きである。歴史を学ぶということは、大きく言えば人類の誕生から始まり、今、この一瞬までもが対象になる。そして、身近なものから言えば自分自身や周囲の人々など、日々の生活の中にも学ぶ歴史が必ずある。極論的に言いきってしまえば、全てのもの、全ての人類が関わったものごとには歴史があり、その数は天文学的数になるということだ。そして、私たちは、そのごく一部を教科書から学んでいるにすぎない。

では、歴史というものを学ぶにあたり、どうすればよいか？　私が出した答えは、勉強をして教科書の歴史だけを学ぶことはもちろん良いことだが、自分の歴史を紐解いていくというのはどうであろうか。今この世に私がいるということは父母、祖父母、曾祖父母、そしてそのまた父母と、必ず血のつながりがある。そのつながりを一つずつ自分なりに紐解いていく。すると、自分自身が生まれるにあたり、何百何千という祖先が関わり、時に自分が学んだあの歴史に関係していたり、そのつながりは時に日本全国に広がり、時に世界規模になる可能性を秘めている。そして、自分がそのつながりを持った大切な結晶であることがわかるはずである。終わることが絶対にありえない「自分史」ができあがっていく。一生涯をかけても終わらない作業ではないかと思う。

歴史はおもしろい。ぜひ「自分史」を作って自分のルーツを紐解いてみてはどうであろうか？

中学校

雄飛祭

雄飛祭への意気込み

生徒会長三年一組　赤澤　美徳

今年の雄飛祭のテーマは火が燃え上がるように盛んであるという意味の「熾盛（しじょう）」です。昨年度は、インフルエンザの影響で中止になってしまったので、今年は昨年の分までみんなで雄飛祭を盛り上げていこうと各学年とも頑張っています。

今年は、生徒会でもイベントを企画しています。生徒会では近年、日本の文化になりつつある「アニメ」について研究をしています。その研究の成果を展示したり、年代別のアニメ検定を作成して、たくさんの人にチャレンジしてもらおうと考えています。生徒会として催し物をやるのは初めてなので、ぜひ見に来てください。

雄飛祭は生徒たちが楽しみにしている行事の一つです。みんなで協力して多くの人の思い出に残るような雄飛祭にできるよう準備していますので、ぜひ中学校にも足を運んでください。

クラス企画紹介

一年生

「肝だめし同好会」

僕たち一年生は、迷路風肝だめしをやります。内容は細かく説明してしまうとネタバレのおそれがあるので、これくらいにしておきたいと思います。クラスで協力して一つのアトラクションを手作りで完成させます。肝だめしが好きな方も苦手な方も、どんどん挑戦してみてください。クラス一同お待ちしています。

二年生

「スポーツパーク」

今回僕たちがやる催し物はスポーツパークというものです。スポーツといっても誰でもできるようなものを二つ用意しています。

一つ目はストラックアウトです。ストラックアウトの中でも三つの種類があります。それは、野球・テニス・サッカーの三つです。

二つ目はフリースローです。年齢別に投げる場所が違うので、大人から小さい子どもまで楽しめます。各種目とも賞品も用意していますのでぜひ挑戦してください。

三年生

「逃走中！」

僕たち中学校三年生は、「逃走中」をやります。内容は、中学棟や中学棟の周りにいるウォーリー（逃走者）を探し出し、ウォーリーにスタンプを押してもらうウォークラリー系のゲームです。ウォーリーは全部で五人いるので全てを探し出せるように頑張ってください。

とても単純そうに思えるゲームですが、とてもエキサイティングな内容になっています。みなさんの挑戦をウォーリーたちが待っていますので、三年一組に来てください。

▶昨年度は中学校だけで発表会を実施しました。

スポーツフェスティバル

九月四日（土）、スポーツフェスティバルが行われました。種目はソフトバレーボールを実施しました。生徒のチーム分けはクラスの団結を深めるためにクラス単位でした。そこに学年毎の保護者チームを加えて計六チームでの熱戦が繰り広げられました。

学年を越えての対戦とあって、上級生は下級生に負けまいと、下級生はなんとか上級生に勝ってやろうと、それぞれが一生懸命に参加していました。また、保護者チームとの対戦では、保護者の方々が、本気で生徒チームと闘っている姿が見られました。

試合結果

【優　勝】二年生保護者
【準優勝】三年生
【三　位】一年生保護者

ソフトバレーボールの様子

中大連携授業

七月十三日（火）の第六・七校時に文星短大の中田亮先生をお招きして講演会を実施しました。「日本文学あれこれ」という演題で講演をしていただき、鎌倉時代から現代までの日本文学の理解を深める良い機会になりました。特に、俳句では本県ゆかりの作者や本校生徒の作品も取り上げられ、作品へ興味・関心を持つことができました。熱心に中田先生の講演を聞くことがで、充実した時間となりました。

一日体験学習

九月二十八日（土）に、小学校六年生と保護者の方を対象とした一日体験学習が開かれました。来年度から男女募集ということもあり、約百三十名の参加者がありました。

今回は、国語・算数・理科・社会の中から二つ選択してもらい、体験授業を実施しました。各教科とも楽しくわかりやすかったとの声が多く、とても有意義な一日体験学習になりました。

部活動大会結果

《文部科学大臣杯小中将棋団体戦東日本大会》
七月二十九日（木）
予選リーグ
一勝二敗　予選敗退

《総合体育大会地区予選》

剣道
横山　圭介　二回戦
佐々木　裕　一回戦

ソフトテニス
〈団体〉
対　宝木中　一回戦
〈個人〉
菊池・徳本　二回戦
赤澤・赤上　一回戦
辻・野澤　一回戦
佐藤・吉倉　一回戦

卓球
饗庭　聖治　一回戦
齋藤　祐貴　一回戦

バスケットボール
対　姿川中　一回戦

《新人戦地区予選》

剣道
福田　紀泰　一回戦

ソフトテニス
〈団体〉
対　城山中　一回戦
〈個人〉
辻・徳本　二回戦
佐藤・齋藤　一回戦
吉倉・森川　一回戦

バスケットボール
対　姿川中　一回戦

サマーキャンプ

中学一年生は、七月三十日(金)から八月一日(日)の二泊三日で、福島県のレジーナの森へ、サマーキャンプに行ってきました。自然体験活動を通して、環境への配慮などを学ぶと共に、クラスの絆をより深めてきたようです。

生徒の感想を一部ご紹介します。

一年一組　齋藤　祐貴

レジーナの森は、意外と広かったです。初日は、雨が降っていたので屋内のプールに入りました。プールは少し小さかったですが、暑かったのでとても気持ちがよかったです。この日の夕食はダッチオーブンを使って作りました。僕は火を見る係をしましたが、火は強すぎても弱すぎても駄目なので、炭を入れる作業は大変でした。僕の班はすさまじく蒸気をあげていたので心配でしたが、とてもおいしかったです。

二日目は、朝から晴れて空が眩しかったです。午前中は、自分で選んだマウンテンバイクに乗って、いろいろな道を走りました。とても爽快でした。その後の昼食はカレーを作りました。隠し味にコショウを多く入れすぎて、とてもスパイシーなカレーになってしまいましたが、おいしかったです。午後は、カナディアンカヌーに乗りました。リードを使って一生懸命こぎましたが、力がとても必要で、誰かから水をかけられたことで被害にもあいました。けれど、面白かったです。この日は他に、マスのつかみ取りやバーベキューをやりました。

最終日には、閉校式と帰校式の挨拶を任され、パニックになりました。考えるのも、覚えるのもとても苦労しました。本番では棒読みになり、親友からはあれこれ言われ恥ずかしかったです。三日間、有意義な活動をたくさんすることができてよかったです。

（2日目昼食）
食事も自分たちで作りました！

アメリカンキャンプ

中学二年生は、七月三十日(金)からの二泊三日で八月一日(日)まで、茨城県の白浜少年自然の家へ、アメリカンキャンプに行ってきました。

生徒の感想を一部ご紹介します。

二年一組　吉倉　洋輝

僕がアメリカンキャンプで学んだことは、外国の人の話すスピードが、学校で話しているときよりも二、三倍は速いということです。

いつも学校で、発音の練習をしたりするときは、日本語を話すよりも速く話しているので、今回のキャンプに行ってネイティブの人の話を聞いても、聞き取れるだろうと思っていましたが、実際に生で聞いてみるとすごく速くて分からないこともありました。

宿泊施設に泊まっているたくさんの人の前で、スピーチもしました。みんなの前に出てみると、やはりすごく緊張してしまい、とても小さな声でスピーチをしてしまいました。

来年はさらにレベルアップすると思うので、「発音・スピード・声の大きさ」に気をつけて、頑張りたいと思います。

二年一組　島田　慧

僕は、このキャンプで心に残ったことがいくつかあります。一つ目は、ダンスパーティーです。ダンスは元々好きなほうではないですが、外国の人が手を取ってくれたので、とても楽しく踊ることができました。二つ目は、最終日に行った英会話です。中学生は劇をやりました。ドラゴンボールやマザーテレサなど、とても面白い劇をみんなで作りました。しかも、僕の班のタイタニックの劇は、見事一位を取ることが出来たので良かったです。そして、その後行ったスピーチでも、賞を取ることができました。

これからも、英語にふれる機会が多くなってくるので、もっと英語を頑張って勉強したいと思います。

国境を越えた友情も

英語研修

中学三年生は、八月八日(日)から八月十日(火)に、二泊三日の日程で、福島県にあるブリティッシュヒルズへ英語研修に行ってきました。ドラマの撮影場所にも使われたことがあるこの施設は、まるで映画の「ハリーポッター」にでてくるような場所で、生徒たちは日本に居ながら、英語だけで生活する体験ができました。

少し緊張しながら、フルコース料理を食べる生徒たち

生徒の感想を一部ご紹介します。

三年一組　小林　弘和

今回、ブリティッシュヒルズに行って、とても良い経験ができたと思います。なぜなら、ブリティッシュヒルズでは、常に英語で話すことが普通なので、今まで習った英語の力を試す良い機会になりました。普段は食べないような、フルコース料理を食べたりもできました。他にも、ブリティッシュスポーツのクリケットやホッケーなどをみんなで体験したり、パブゲームスをして楽しむこともできました。

このように、いつもとは違う色々なことを経験することができましたが、やはり一番の思い出は、初対面の外国の方とたくさん話せる機会に恵まれたということだと思います。外国人の方々との交流を通して、僕の知らない文化に触れることもできました。

今回のブリティッシュヒルズでの英語研修は、これからの生活の様々な場面で役に立つ良い経験になったと思います。

英国のスポーツを楽しむ

修学旅行

中学校三年生は、九月十四日(火)から十七日(金)の三泊四日で、広島・京都・奈良方面へ修学旅行に行ってきました。

初日は広島まで行き、厳島神社や広島平和記念公園を見学。二日目は薬師寺や法隆寺などの奈良方面。三日目は京都市内を班別で立てた計画に沿って班別自主研修。そして最終日は、座禅の体験をしてきました。

生徒たちは中学校生活の最高の思い出として、仲間と共に過ごす時間を思いきり満喫し、一層絆を深めてきたようです。

生徒の感想をご紹介します。

厳島神社にて

三年一組　井上　博紀

人生二回目の修学旅行へ行ってきました。今回の修学旅行は広島・京都・奈良方面でした。様々な土地へ行き、たくさんの思い出ができました。

一つ目の思い出は、広島の宮島の厳島神社へ行った時のことです。今までに写真や映像では何度も見たことがありましたが、実物を目の前にしてみるとその大きさに見とれてしまいました。特に、鳥居がとても大きく雄大でした。

二つ目の思い出は、奈良でのことです。法隆寺や薬師寺などを見学しました。クラスの仲間と見学しながら、学校では話すことのない奈良の歴史についてたくさん話すことができました。

三つ目は、二日目の夜に先生に注意を受けたことです。夜の十二時くらいにテレビを見ていてしかられてしまいました。その時、僕は世の中のルールを守ることの大切さを知りました。これからは、この日先生から教わったことを自分の戒めにしようと思います。

四つ目は、京都の班別自主研修です。最初から最後まで一日の計画を立て臨みました。しかし、いざ行動してみると計画どおりになかなかいきませんでした。その中でも、私たちの班は臨機応変に対応することができ、計画していたところを無事に見学できたのでよかったです。

こうして修学旅行を終えてみると、とても勉強になりました。日本の国宝や重要文化財を見ることで、改めて日本の歴史や伝統文化を学ぶことができ、中学生活での大切な思い出となりました。

法隆寺　夢殿にて

三年一組　長谷川　敬

今回、僕たち三年生は三泊四日という長い修学旅行へ行ってきました。

修学旅行の中で、一番楽しかったことと、大変だったことを紹介したいと思います。

まず、初めに楽しかったことは、修学旅行のメインでもある京都見学です。そこでは班のメンバー四人と班別自主研修をしてきました。最初に三十三間堂を訪れました。現地に着くまでに道を間違ってしまい、バスに乗り遅れてしまいました。班全体が不安な気持ちになってしまいましたが、班の中の一人の提案で、なんとかたどり着くことができました。

次に訪れた所は、テレビなどでよく見る清水寺です。記念写真を仲間と撮ったのですが、逆光でうまく写真を撮ることができませんでした。しかし、清水の舞台からの眺めはとても綺麗でした。

清水寺の後は、銀閣寺を訪れました。銀閣寺は、どこにでもありそうなお寺の感じがして、想像とは違って物足りなさを感じました。

そして、とても楽しみにしていた金閣寺を訪れました。ちょうど訪れた時間がよく、太陽の光が金閣寺にあたり、黄金に光り輝いていました。以前見に見せてもらった写真よりも何倍、何十倍も綺麗でした。

金閣寺の見学も終わり、上賀茂神社、二条城を回り、京都見学が終わりました。

最後に京都の名物お土産を買いに行ったとき、大変なことが起きてしまいました。それは、道に迷ってしまったことです。道に迷った僕たちは、約一時間半歩き続けました。僕たちは心も体もズタボロになってしまいました。それからタクシーを使ってなんとか旅館に戻ることができました。

今回の修学旅行は、いろいろと大変でしたが、とてもいい思い出となりました。

平和記念公園にて

福祉体験

中学三年生は七月二十七日(火)と二十八日(水)の二日間、昨年度と同様にケアプラザ而今にて、福祉体験を行ってきました。生徒の感想をご紹介します。

三年一組　佐々木　裕

今回の福祉体験をするまで、僕は、福祉体験なんて簡単だろうと思っていました。しかし、実際に体験してみると利用者の方々とどう接すればよいのか、また何を話したらよいのか、全くわかりませんでした。

時間がたつにつれ徐々に利用者の方とコミュニケーションが取れるようになり、とてもうれしかったです。また、施設職員の方々は、利用者の方々とうまくコミュニケーションをとっていたので、とても勉強になりました。

機会があればまたこのような体験をしてみたいと思いました。

第8回 雄飛祭 テーマ『熾盛（しじょう）』

10/23（土）・10/24（日）

一般公開　9:00～14:30（最終入場14:00）
※駐車場は用意しておりませんので公共の交通機関でご来場下さい。

ポスターデザイン／美術デザインコース 2年11組　辻　正朗

制作者コメント

テーマの『熾盛』からイメージし、このような作品になりました。今回は、コラージュの技法を使い、テーマとの関連性に苦労しましたが、面白い作品になったと思います。